



笑顔の食卓

月1回、ハッピーな食卓を応援するページです

自身が育てた野菜や生花について語り合う岩重さんと西坂さん



広島県の若手農家インタビュー



今回は2015年1月16日(金)掲載予定です

広島県内の農家から新鮮野菜や生花が集まるJA交流ひろば「とれたて元気市」(広島市安佐南区天町東)。安佐北区で切り花やイチゴを育てる岩重隆弘さん(37)と、安佐南区のネギ農家西坂和真さん(33)も一翼を担う。未来の農業を支える若い力に、やりがいや今後の目標を聞いた。

岩重さん 子どもたちに野菜本来の味を

いい物はすぐ売り上げに反映 西坂さん

岩重 病気を防ぎ、たり前に作ってほしいな形を保つため。出荷時期を少しずらしたり、包装にシールを貼って目立たせたりする努力は必要。今後の目標は。

岩重 子どもたちに

本来の野菜の味を教えたい。カーブやサンフレを愛するよう

農業を始めたきつした時期もあったが、お客さんに「きれいじゃね」「おいしかったよ」と言ってもらえる

に、地元の野菜を愛してほしい。

岩重 会社員を辞めて実家を手伝ううちに、どんどん農業が面白くなった。

西坂 ビニールハウスの水耕栽培の設備を整え、トマト栽培に取り組みたい。若い人を

西坂 調理師やスノーボードのプロを目指すことは。

雇い、一緒に広島県の農業を盛り上げたい。

JA全農ひろしま